

## SDGs目標13 「気候変動に具体的な対策を」

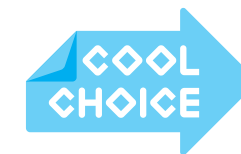
気候変動およびその影響を軽減するための緊急対策を講じることをゴールに掲げています。この目標には、気候変動に関する教育、知識の啓発、制度機能改善に向けた取り組みを行うことも含まれています。

# Action 13 地球温暖化対策のための国民運動 COOL CHOICE

「COOL CHOICE」とは、温室効果ガスの排出量を2030年度までに2013年度比で26%削減するという目標を達成するため、低炭素型の製品への買換え・サービスの利用・ライフスタイルの選択など温暖化対策のために「賢い選択」をしていこうという、政府をあげての国民運動です。博報堂はロゴマークの制作をはじめ、地方自治体・産業界・NPOなどと連携して、「クールビズ」「ウォームビズ」をはじめとする数々の取り組みを呼びかけています。2017年度は、「COOL CHOICE」に率先して取り組んでいる個人、グループおよび企業・団体等の主体的な取り組みを表彰・紹介する制度「COOL CHOICE LEADERS AWARD」の創設などに携わりました。



一人ひとりの行動を、  
地球温暖化の課題解決につなげていく。



2016年、地球温暖化対策の新しい国際ルールである「パリ協定」が発効されました。日本もこれを批准し、2030年度までにCO<sub>2</sub>排出量を26%削減（2013年度比）する目標を掲げています。この目標を達成するためには、行政だけでなく企業や国民一人ひとりの協力が不可欠です。地球温暖化対策と日々の生活を結びつけるのは、やはり難しいものです。日本に暮らすすべての人々が、無理なくはじめられる具体的な行動を広く紹介していく必要がありました。そこで、私たちが提案したコミュニケーション・フレームが国民運動「COOL CHOICE」です。資源の限られた国だからこそ生まれたクールな省エネアイデアと、世界からクールだと賞賛される最先端技術が合わさった暮らし方を選んでいこう、と呼びかけていく活動に、博報堂は主体的に取り組んでいます。私たちは、京都議定書の目標達成を目的とした国民運動「チーム・マイナス6%」以来、環境省との業務を通じて、地球温暖化対策の推進に積極的に携わってきました。10年以上、さまざまな試行錯誤を続け

ながら地球規模の環境問題に取り組み続けてきた知見は、他にはない博報堂の強みになっていると感じています。時代とともに生活者のライフスタイルが変化している今、地球温暖化対策への取り組みも新しいスタイルへ進化していく必要があります。デジタルメディアでのコミュニケーションも活用しながら、生活者一人ひとりの意志ある行動を、地球温暖化の課題解決につなげていくお手伝いをこれからも続けていきます。



博報堂  
テーマビジネス局  
横田 恭祐



環境省による「COOL CHOICE LEADERS AWARD」の告知物のデザインを手掛けました。



特別審査委員を務めた爆笑問題の田中裕二さん(左)と太田光さん(右)



軽装で過ごすことや、冷房を強めすぎないことをPRする、環境省の2018年度の「クールビズ」ポスターを制作しました。